

■ CCMJ資格更新 CPD単位概要表 (赤太字は今回の変更点、2013年12月1日より適用。「参加-B ③」を除き、過去に遡及なし)

CPD プログラム	区分記号	研修内容	単位算定の基本的考え方		該当申請用紙
実務活動型 A (A) CM(PM)業務のマネジメント実務経験	実務-A-1	プロジェクトの責任ある立場等	8単位 /1件	プロジェクトの実施期間による割り増し係数 2ヶ月未満のプロジェクト x0.5倍 2ヶ月~4ヶ月未満のプロジェクト x1.0倍 4ヶ月~8ヶ月未満のプロジェクト x1.5倍 8ヶ月~12ヶ月のプロジェクト x2.0倍 常駐しての業務の割り増し x1.5倍 (注) 1年を超えるプロジェクトは、同一プロジェクト名で段を分けて、年度ごとに算定式を記入する。	申請用紙-3
	実務-A-2	プロジェクトの担当者	4単位 /1件		
	実務-A-3	プロジェクト業務推進組織の運営または統括マネジメント(主催者・管理建築士・管理職・技術スタッフ等)	規模によらず、1件につき1単位とする。		
実務活動型 B (B) CM(PM)に関連する業務のマネジメント実務経験	実務-B-1	プロジェクトの責任ある立場等	4単位 /1件	プロジェクトの実施期間による割り増し係数 2ヶ月未満のプロジェクト x0.5倍 2ヶ月~4ヶ月未満のプロジェクト x1.0倍 4ヶ月~8ヶ月未満のプロジェクト x1.5倍 8ヶ月~12ヶ月のプロジェクト x2.0倍 常駐しての業務の割り増し x1.5倍 (注) 1年を超えるプロジェクトは、同一プロジェクト名で段を分けて、年度ごとに算定式を記入する。	申請用紙-4
	実務-B-2	プロジェクトの担当者	2単位 /1件		
	実務-B-3	プロジェクト業務推進組織の運営または統括マネジメント(主催者・管理建築士・管理職・技術スタッフ等)	規模によらず、2件につき1単位とする。		
	実務-B-4	プロジェクト単位で区切ることが困難な業務(建設行政・維持管理・研究・教育等の場合)	責任ある立場等の場合 1単位/月 担当者の立場の場合 0.5単位/月		
実務活動型 小計			AとBを合わせて1年当たり10単位を上限とする		
協会活動型 A (A) CMAJへの自主的活動参加(専門的・主体的な参加に限る)	協会-A-1	CMAJ機関誌およびその他出版物でCM業務に関連する記事の執筆(共著を含む)	5単位/1記事		申請用紙-5
	協会-A-2	同、専門書籍類の執筆(共著を含む)	10単位/1冊		
	協会-A-3 ①	CMAJ主催の講習会・パネルディスカッション等での講師(※CMフォーラム、CMスクールを除く)	1単位/1時間		
	協会-A-3 ②	CMフォーラムでの講師	5単位/回 ※2013年12月より適用、過去遡及なし		
	協会-A-3 ③	CMスクールおよびガイドブック集中講座での講師	3単位/1時間(18単位/日=延6時間) ※2013年12月より適用、過去遡及なし		
協会-A-4	CMAJ主催の各種委員会活動	1単位/2時間			
協会活動型 B (B) CMAJ以外の専門団体等への自主的活動参加(専門的・自主的な参加に限る)	協会-B-1	CMAJ以外でのCM業務に関連する出版物の記事執筆(共著を含む)	4単位/1記事		申請用紙-6
	協会-B-2	同、専門書籍類の執筆(共著を含む)	8単位/1冊		
	協会-B-3	CMAJ主催の講習会・パネルディスカッションでの講師	1単位/1時間		
	協会-B-4	CMAJ主催の各種委員会活動	1単位/2時間		
協会活動型 小計			1年当たり10単位取得を目指す(上限なし)		
参加型 (A) CMAJ総会	参加-A	本部総会および支部総会に出席(総会後の講演会等は別ポイント)	5単位/1総会		申請用紙-7
	参加-B ① 参加-B ② 参加-B ③	参加-B ①	CM業務に関連する講習会・講演会・セミナー・パネルディスカッション等への出席(※CMフォーラム、CMスクールは除く)		
		参加-B ②	CMフォーラムへの出席		
		参加-B ③	CM選奨へ応募し、事務局で受理された申請者(各社より貢献度大と判断される資格者 最高3名まで)		
参加-C	CMスクールおよびガイドブック集中講座への出席	ガイドブック集中講座(2日間): 計36単位 CMスクール1日講座(6時間): 18単位/日 ※CMスクール取得単位数の年間上限なし ※2013年12月より適用する、過去遡及なし			
(D) CMAJ以外の専門団体等主催の講習会等	参加-D	CMAJ以外の専門団体等が主催した講習会・講演会・セミナー・パネルディスカッション等への出席、及び資格更新の講習会受講。	1単位/1時間 1年間20単位を上限とする。		
参加型 小計			1年当たり10単位取得を目指す(上限なし)		
自己学習型 (A) 機関誌・雑誌記事等の理解	学習-A-1	CMAJ機関誌記事でCMAJが認定したCM関連記事への研究(情報の要約と見解)	2単位/1件		申請用紙-8
	学習-A-2	上記以外で、CMIに関連する記事への研究(情報の要約と見解)	1単位/記事		
	学習-B	報告書・専門図書等の研究(情報の要約と見解)	1単位/10頁(1年間で10単位を上限とする) ※2010年度より適用し、過去には遡及しません		
(B) 専門書等の理解	学習-B	報告書・専門図書等の研究(情報の要約と見解)	1単位/10頁(1年間で10単位を上限とする) ※2010年度より適用し、過去には遡及しません		
(C) 資格取得への学習	学習-C	CM業務に寄与する資格取得実績(更新は除く)	2単位/1資格		
自己学習型 小計			1年当たり10単位取得を目指す		
注意事項	CCMJ資格更新は右の3条件をクリアしてください。		1. 最低2つ以上のCPDプログラムによりCPDポイントを取得すること。 ただし実務活動 A と B の組み合わせや協会活動 A と B の組み合わせは不可とする。 2. CPDポイントの累計が、60(3年間)~100(5年間)単位となること。(登録時期により更新に必要なCPD累計ポイントが異なる)		
	時間・期間計算	時間・期間は全て実動時間(期間)とし、単位算定時には小数点以下切り上げとする 例)3.5時間は4時間、および 1.5ヶ月は2ヶ月とする。			
	次回資格更新時へのCPDポイント繰り越し	資格更新時点でCPDポイントの累計が所要ポイント数を超過している場合、30ポイントを上限として、次回のCPD研修に繰り越し、加算できる。(※過去の総ポイント数は協会にて記録管理しています)			